

# 大特集！留学体験談！

## 開成校新聞

発行  
開成中等新開局  
\* \* \*  
東区北22条東21丁目  
TEL 788-6987

今号では、新聞局員の長期・短期留学体験について紹介する。留学に興味がある生徒の参考になれば嬉しい。

体験談①  
(三週間・カナダ)



▼私は「トビタテ！留学JAPAN」という文部科学省の奨学金プログラムを利用して、夏休み三週間、カナダのバンクーバーに留学した。これからカナダの生活文化や語学学校の様子などを紹介する。

▼トビタテに合格するまでトビタテの選考書類には、自分の動機志望や現地での予定を書いた。この際、現地に行つた時の予定を自分で計画する必要がある。

私は留学の目的と留学先でやりたいことを留学エージェントに相談して日程を調整してもらった。

▼自主活動について

トビタテでは現地で日本の文化を紹介したり、自分の興味があることについて活動することについて活動した。日本の教育・家庭貧困について街頭インタビューを行う。

・家族に茶道をふるまう。  
・ホームステイ先の家族に日本の文房具を紹介する。  
・カナダの児童保護施設に訪問しインタビューをする。

▼語学学校について

私に通っていた語学学校はいくつかプログラムがあり、私は午前中に授業を行うコースを選んだ。授業は生徒同士の議論が中心で、生徒が主体となり授業を進めた。

### 留学報告会開催！

今年の夏に留学した生徒の体験談が聞ける。途中入退場可。詳しい情報は後日公開される。  
日時：11月8・15日  
15：45～16：40

▼ホームステイ先の家族について

私は初め家族について四大家族だと聞いていた。しかし実際には四大家族に加えて十一人の留学生がいて、ホームステイというよりは、学生寮のようだった。しかしみんなB B Qをしたり、ブルーベリー狩りに行き充実した日々を過ごせた。

体験談②

(十か月間・アメリカ)



場所はアメリカのアリゾナ州、ツーソン。ツーソンはアメリカの南西にあり、夏の気温は四十度を超える。

▼長期留学までの道のり

私はAlyssaという会社の長期期間プログラムを利用した。長期留学をするためにはまず、面接官との面接、ELTSという試験の二つをパスしなければならぬ。また、これらをパスしたとしてもその後の素行が悪いと留学をキャンセルされるので、決まった後も気を抜くことはできない。

▼アメリカの学校

長期留学の場合、進級のためにアメリカの学校で単位を取らなければならないので、普通の学校に通う。時間割は科目選択式であり、自分でどの教科を受けるか決める。科目の中には歯学やスペイン語、ギターなどの特徴的な科目も多く見られる。授業形態はそれぞれだが、ほぼ全ての科目に課題と期末テストがある。もちろん、課題もテストも教科書もすべて英語なので、最初はとても苦労した。また、学校には食堂があり、朝と昼にお弁当を買うことが出来る。コレートミルクなどがある。

味に関しては賛否両論あるだろう。

▼アメリカに来て驚いたこと

アメリカに来てまず驚いたのは規模の大きさである。広さ、種類、値段、そのどれもが体感で日本の約三倍ほどある。水一本でも日本円で約230円もするし、チーズ一つとってもスーパーには五十種類以上置かれていたりする。またホームセンターには屋根やドアなど、日本では考えられないようなものが売られている。アメリカは平屋が多いので自分たちで屋根や壁を修理、リフォームすることもあるそう

だ。そのほかにも、実際に留学生活をするからこそ気づけることが沢山ある。皆さんも一度、留学を検討してみてください。どうだろうか。

### 新聞局員募集中！

毎週火曜日、木曜日、金曜日の放課後に活動しています。1年生・2年生のまだ局員に活動したい方、興味がある方、見学をお待ちします！

発行責任者 山田